

浮魚（うきうお）

浮魚とは、海面近くを群れで泳ぎ回る魚のこと。ブリやマグロ、イワシやアジなどの仲間が含まれます。この中で、小型の浮魚であるイワシやアジなどが秋ごろになると磯浜に群れで入り込んでくることがあります。

ただ、これまでは魚種がはっきりとわからなかったのですが、先日確かめることができました。確認できたのは、カタクチイワシ（写真1・2）とマアジ（写真3）です。カタクチイワシは、成魚と大きさ5cmほどの稚魚が別々の群れで見つかりました。いずれもプランクトンを食べに磯浜に入ってきたのでしょう。秋は海水中にプランクトンが増える季節でもあるのです。

さて、これは未確認情報ですが、磯浜から出たところの外海で釣りをしていた人が、ブリを釣り上げたそうです。イワシなどを食べにやってきたと思われます。磯浜の中にも小魚を追って入り込んでくる可能性が十分ありそうです。



写真1 カタクチイワシ



写真2 大きさ5cmほどのカタクチイワシ稚魚



写真3 マアジの群れ